

公社が共同研究した技術が日本下水道事業団 新技術 I 類に選定されました。

日本下水道事業団、積水アクアシステム（株）と共同研究を実施してきました
最終沈殿池での固液分離促進装置が、日本下水道事業団 新技術 I 類に選定されました

技術名：最終沈殿池用傾斜板沈殿分離装置

選定日：平成29年3月23日

概要：

上水分野で実績の多い傾斜板沈降装置を、下水処理場の最終沈殿池用に改良した動力不要の固液分離装置です。既存躯体を活用した処理能力増強（SS 除去効率の向上）が可能となり、新設・更新時の大幅なコスト軽減を図ることができます。

この技術は、日本下水道事業団が実施している地方公共団体のニーズに応じた新技術の導入を促進する取組みである「新技術導入制度」に基づく「新技術 I 類」に選定されたものです。（詳細は[こちら](#)）

【外部リンク】 [I 類選定新技術 最終沈殿池用傾斜板沈殿分離装置](#) ←ここをクリック

発明名称「固液分離システムおよび傾斜板」が平成29年7月28日特許登録されました。
（日本下水道事業団、積水アクアシステム（株）、（公財）愛知水と緑の公社）



公社調査研究チーム